

第 2 1 期 第 1 5 回福岡県内水面漁場管理委員会議事概要

1. 日 時 令和 6 年 1 月 2 4 日 (水) 1 4 時 0 0 分～ 1 4 時 5 8 分

2. 場 所 福岡市博多区東公園 7 番 7 号
福岡県庁 4 階 漁業調整委員会室

3. 出席者

福岡県内水面漁場管理委員会委員 9 名

4. 臨席者

福岡県農林水産部水産局水産振興課 2 名
福岡県水産海洋技術センター内水面研究所 1 名
福岡県農林水産部水産局漁業管理課 2 名
福岡県内水面漁業協同組合連合会 1 名

5. 議題及び議決内容

(1) えつ流刺し網による採捕許可について (協議)

(説明)

資料 1 に沿って県水産振興課から説明があり、協議の結果、原案のとおり承認され、
第 2 1 期第 8 回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会に臨むこととなった。

(主な質疑や意見)

特になし。

(2) 室見川の採捕禁止区域設定に係る委員会指示について (協議)

(説明)

資料 2 に沿って県漁業管理課及び水産振興課から説明があり、協議の結果、原案の
とおり委員会指示を発出することが議決された。

(主な質疑や意見)

① 委員：禁止期間以外について、シジミを捕っている人は多いのか。

県：多い。

② 委員：当該委員会指示以外の制限は。

県：漁業調整規則に 1 c m 以下の採捕を禁止する殻長制限がある。

(3) 資源管理の状況等の報告について (共同漁業) (報告)

(説明)

資料 3 に沿って県水産振興課から報告された。

(主な質疑や意見)

特になし。

(4) えつ遡上調査の実施について（協議）

（説明）

資料4に沿って県水産振興課から説明があり、協議の結果、原案のとおり承認され、第21期第8回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会です承を得た上で、調査を実施することとした。

（主な質疑や意見）

① 委員：調査は何年くらいする予定か。

県：傾向が分かるまでに、5年以上かかると考えている。

② 委員：調査の結果を受け、漁期を早めるかについては、早期の産卵群の保護も考慮した方が良い。

委員：多方面から慎重に検討しなければならないと思う。

(5) 第21期第7回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会について（報告）

（説明）

資料5に沿って県漁業管理課から報告された。

（主な質疑や意見）

特になし。

(6) その他

特になし。